

平成29年度山内図書館の目標振り返り

この目標は「横浜市立図書館アクションプラン(第2期)」に基づいて策定しています。
[目標値]の数値は平成29年度末現在、前年度数値は平成28年度末です。

基本目標:市民の読書活動を支える地域の情報拠点

重点項目1 市民の読書活動を支える図書館

地域特性に応じた読書活動の推進

具体的取組	指標	実施状況	評価
地域のスポーツ関連団体と連携した事業の実施	事業開催数	2回(サッカー展示:5月~6月、映画上映会:5月)	B
ビブリオバトルの普及	講座開催数	2回(子ども向け図鑑ビブリオ:7月、大人向けビブリオ&本棚編集:12月)	B
郷土に関する講演会と展示	講座開催数	2回(大山道の講演会:5月、青葉区の今昔展示:6月~7月)	B

家庭での読書活動の支援

具体的取組	指標	実施状況	評価
おはなし会を実施	<1>定例おはなし会開催数 <2>特別おはなし会開催数	<1>69回 <2>11回	B
親子が本に出会う場所となる読み聞かせ講座を開催	講座開催数	12回	B
子ども向け企画展示の実施	展示実施数	28回	A

学校への支援と学校教育への協力

具体的取組	指標	実施状況	評価
学校司書をはじめ教職員からの相談受付および支援	相談・支援件数	120件	A
図書館見学および職業体験生の受入	参加人数	見学 615人 職業体験 48人	A
教職員向け貸出の実施	貸出件数	189件	A
教職員、ボランティアを対象とした読み聞かせ・本の修理などの講座を開催	開催回数	12回	B

地域の読書活動への支援

具体的取組	指標	実施状況	評価
団体貸出利用者向けの講座を実施	講座開催数	1回(2/8)	B
地域ボランティア向けの講座実施	講座開催数	1回(9/22)	B
市民と協働した企画事業の実施	講座開催数	21回	B

障害のある方への情報提供支援			
具体的取組	指標	実施状況	評価
多目的トイレの使いやすさ	ドアの改修	平成30年2月13日工事完了	B
朗読CDの収集と提供	朗読CD購入	10枚(平成29年9月購入済)	B

重点項目2 地域の情報拠点としての図書館			
市民の課題解決と読書活動に役立つ資料の収集			
具体的取組	指標	実施状況	評価
情報科学分野の資料の収集	購入冊数	87冊	A
多文化共生を支援する語学書の充実	購入冊数	71冊	A
子育て支援コーナーの新設	購入冊数	245冊(一般77冊 児童168冊)	A
児童向けの図鑑、百科事典の購入	購入冊数	35冊	A
教職員向けに教科書掲載図書の新規	購入冊数	57冊	A
郷土資料(地形図・地図)の購入	購入冊数	21冊	A
ティーンズコーナーの充実	購入冊数	155冊	A
古典、ロングセラーの買替	購入冊数	79冊	A
紙芝居の充実	購入冊数	50冊	B
はじめてものがたりコーナーの充実	購入冊数	41冊	B
資料の保存環境の整備			
具体的取組	指標	実施状況	評価
利用率の低下した資料の除籍	除籍冊数	6,804冊	A
資料の活用と情報発信			
具体的取組	指標	実施状況	評価
タウン誌等との情報連携による広報	掲載回数	「タウンニュース」及び「ひろたりあん通信」に合わせて24回情報提供実施。	A
地域ミニFM出演による図書館のPR	出演回数	隔月ペースで7回出演	C
ホームページコンテンツの刷新	新コンテンツの追加および更新	<1>「おすすめ本紹介」追加、月1回更新 <2>市が尾駅から古墳群を散策(平成30年1月12日)追加	B

市民の学習活動・課題解決の支援			
具体的取組	指標	実施状況	評価
市民の学習意欲に対応し、大人向けオンラインデータベース使い方講座の実施	講座開催数	1回(新聞データベース講座:3月)	B
子どもの調べ学習支援のため、図鑑を用いた小学生向け調べ方講座の実施	講座開催数	1回(8月)	B
市や区と連携した地域情報の発信や高齢者向け事業の実施	<1>講座開催数 <2>展示開催数	<1>1回(相続遺言講座:2月) <2>3回(9月、11月、3月)	B
人材育成の推進			
具体的取組	指標	実施状況	評価
司書業務全般について能力向上のため中央図書館・県立図書館をはじめ各研修に参加	研修参加数	20回	A
職員スタッフ全員に向けて休館日を利用した内部研修を実施	研修開催数	6回	B
定例ミーティングを欠かさず実施、研修成果や情報の共有化を徹底する	<1>朝礼 <2>職員会議 <3>役職会議 <4>職員アルバイト代表会議 <5>アルバイト全体ミーティング 各定例ミーティング開催数	<1>通年 <2>毎火曜日 <3>2回 <4>12回(休館日) <5>4回	B

重点項目3 誰もが利用しやすい図書館			
市民の意見を反映した図書館運営			
具体的取組	指標	実施状況	評価
利用者フォーラムを開催して、山内図書館への意見や提案を収集	利用者フォーラムの開催数	2回(9月・2月)	B
アンケートを実施して、山内図書館の改善点を把握	アンケートの実施	1回(2月)	B
山内図書館独自目標			
具体的取組	指標	実施状況	評価
40周年記念事業を開催して、山内図書館を広報	40周年記念事業数	展示2回 講座5回	B
個人情報保護の考え方をスタッフ全員に周知徹底し、個人情報を適切に管理	個人情報保護教育	2回(4月、11月)	B
ティーンズ向けサービスの充実	区内高校生との連携によるティーンズコーナーづくりと更新	6回	A

山内図書館の目標振り返りについての総合図書館コメント

今年度の取組について	<p>開館40周年の記念事業を行い、幅広く図書館の存在を広報し、読書活動の推進につなげました。資料管理においては、地域特性に即した蔵書構成を軸に、選書、寄贈受入、廃棄をすすめ、魅力ある書架づくりをめざしました。青葉区は、子育て世代が多いことに着目し、子育て支援コーナー「一緒にすくすく」を新設しました。おはなし会、おはなしごっこ012、託児サービス、有料宅配といった事業とともに子育て世代に活用されています。ティーンズ世代に向けては、近隣高校の生徒と協働でティーンズコーナーを刷新しました。広報では、従来のホームページ、SNSといったインターネット発信に加えて、広報よこはま青葉区版、タウン誌、地域ミニFMなどの媒体を積極的に活用し、地域に向けた情報発信を積極的に行いました。</p>
今後の課題について	<p>中高生に図書館をもっと利用してほしいと考えます。ティーンズコーナー、およびホームページ「ティーンズページ」の一層の充実を図ります。あわせて、読書活動推進事業の青葉区所管課であることも家庭支援課と協働で、ティーンズ向けのワークショップを連続で開催します。また、直接子どもたちの読書活動を支えている学校司書への支援を引き続き行います。</p> <p>読書活動を支えるボランティアの育成も平成30年度の課題です。読み聞かせボランティア育成講座を開催します。修理ボランティアは、新メンバーの育成とともに、既存のボランティアに向けた研修も検討していきます。</p> <p>平成30年度横浜市の読書活動推進目標が改定されることを受け、青葉区民読書活動推進目標も改定の準備を進めていきます。</p>

評価基準	内容
A	目標とした、または期待した水準を上回る達成状況である
B	おおむね目標とした、または期待した水準レベルの達成状況である
C	目標とした、または期待した水準を下回る達成状況である